

子どもたちを再び戦場に送るな ——三豊観音寺 9 条の碑——

所員 高井和雄

香川県内で 3 番目の「憲法 9 条の碑」が今年の 5 月 3 日（憲法記念日）に建立され、除幕式が行われました。

建てた場所は観音寺市出作町にある三豊教育会館です。ここは 1982 年 8 月 1 日に香川県教職員組合三豊支部（当時）が三豊の教職員や教職員 OB の寄付・カンパと三豊支部の資金で建設されました。その後「三豊支部をはじめ、三豊の民主勢力の活動の拠点」（「香川教育」1982. 5. 5 付）として大きな役割を果たしています。



（三豊教育会館）

三豊・観音寺に 9 条の碑をつくるきっかけは国際ジャーナリストの伊藤千尋さんの著書「非戦の誓い」からでした。

4 月 9 日の準備会の呼びかけ文では

「この地上から戦争をなくし、平和な世界をつくりたい。その願いを国の最高法規とした、世界に誇れる規範が憲法 9 条だ。

『憲法 9 条の碑』は、過去を記憶するためではなく、未来を照らすためにある。

各地の碑をめぐり、建立した人々の思いに触れることで、『非戦の誓い』を胸に刻もう。

伊藤千尋

【非戦の誓い『憲法 9 条の碑』を歩く】より引用

今、世界ではロシアのウクライナへの戦争、パレスチナ・イスラエルの戦争、日本では 5 年間で 43 兆円という軍事費の増額が実施されようとしています。今は戦後ではなく「新しい戦前になるんじゃないでしょうか」（タモリ）と言われていま

す。平和を守る憲法 9 条を知ってもらい生かすことが、ますます大切になっています。観音寺市では柞田飛行場建設のため多大な犠牲を払ってきました。

平和な世を続けることができるために憲法 9 条の碑を建立する取り組みが大切です。

趣旨に賛同される方は下記のとおり準備会を開催いたしますのでご参加願います。」と呼びかけました。

その後、毎月 9 の日かその前後で役員会を準備会も含め 15 回開きました。その中では三豊・観音寺の戦跡を中心に平和について学習もしました。

7 月 10 日には「三豊・観音寺 9 条の碑をつくる会」の規約と役員が決まり、募金目標 50 万円で募金締切 11 月 3 日、除幕式 5 月 3 日を予定しチラシ 2000 枚を作成しました。

その後、各団体に申し入れ、個人での募金をよびかけ賛同した団体は 8 団体、個人は 109 名となり、募金は 50 万円を超過達成し 78 万 7 千円となりました。その中には若い人から 93 歳の女性や 96 歳の戦争中海外の苦しい生活を体験した人も快く募金に応じてくれました。このことには大変力をいただきました。

また、チラシを見ただけで口座振替送金していただいた方もいました。

寄付いただいた団体では組織でよく話し合いを持って、今こそ憲法を守ることが必要だなどの話し合いのもと協力をいただきました。

場所については①お寺②墓地③公共の場所など手分けして交渉しました。話がまとまらず最終的に前述の三豊教育会館の庭に教職員組合支部の了解を得て決定しました。

石材店については観音寺市内の石材店 2 店、市外の石材店、県外の石材店（四国初の 9 条の碑を制作・愛媛県大洲市）に見積もりをしてもらい、検討した結果、綾川町の三好石材工業所に決定しました。

碑のデザインでは表は 9 条の全文にして裏はこ

とばと寄付(1 万円以上)していただいた団体と個人で希望する方を刻銘することにしました。

ことばとしては、11 月 9 日の役員会で「子どもたちを 再び戦場に送るな！」に全会一致で決まりました。

「子どもたちを 再び戦場に送るな！」は教職員が教え子を戦場に送ったという反省から 1951 年に日本教職員組合で「教え子を 再び戦場に送るな！」をスローガンに決定したものを少し変えたものです。この精神をすべての人々の思いとして幅広く共有できるよう「教え子」を「子どもたち」に変え三豊・観音寺の「民主勢力の拠点」に建立するのにふさわしいという意見が多数でした。

表の絵について、子どもの顔とうどんの絵に決まりましたがどのような絵がよいか決まりませんでした。

うどんについて推す人は、これは香川県の名物でうどんは長くつづくという言い伝えがあり「平和が長く続きますように」という思いと「さぬきうどんはコシが命、二枚腰三枚腰で平和を守る」なのでぜひ取り入れて欲しいとのことでした。



(三豊観音寺 9 条の碑)

私は 12 月 8 日に高松平和病院で「憲法 9 条の碑完成除幕式」があり参列しました。来賓として来られた伊藤千尋さんの挨拶で「82 カ国を取材したところ『今度は日本がアメリカに原爆を落とす番だ』と、よく言われます。世界は『やられたらやり返せ』の発想で動いています。これでは憎し

みの連鎖が止まりません。

ところが、大半の日本人にはそういう発想はない。それは憲法 9 条が日本人にしっかり根付いているからです。憲法 9 条を守ろうという世論があったからこそいまだに改憲を実現させていません。根付く 9 条の力に日本人は自信を持つべきです」というところが心に残りました。

今年の 1 月からは碑の表に使う絵を役員で投票し香教組組合員の美術教師に依頼することになり、どんぶりに入ったうどんの絵と男女の子どもがハートを抱いた絵になりました。

除幕式については高松平和病院の除幕式を参考にして進めていきました。除幕式で歌声があるというということで地元の合唱団にお願いしベートーベンの第九を演奏していただくことにしました。案内状は寄付いただいた人を中心に郵便料金値上げも考慮し手配りで案内しました。

また、除幕式はお祝いということもあり紅白の饅頭を用意し参加費無料で招待しようということにしました。

また、挨拶については国際ジャーナリストの伊藤千尋さんをダメ元でお願いすることにしました。あと地元の 9 条について詳しい方々にもお願いすることにしました。

最初、伊藤さんは先約があるからと断られました。しかし、その後、先約した 9 条の碑が完成しないことになり観音寺に打診がありました。役員会ではぜひ来てほしいという意見が多く、連絡をしました。

伊藤先生の挨拶だけでなく話も聞きたいという声があり、除幕式前日に「伊藤千尋さんを囲む会」を計画しました。

5 月 2 日の「伊藤千尋さんを囲む会」の参加者は 30 名でした。内容は「なぜ 9 条の碑を建てるのか」ということで下記の 5 項目の話でした。

I. 軍拡に走る日本

II. 9 条の力

III. 広がる憲法 9 条の記念碑

IV. 平和を創る努力こそ、コスタリカに学ぶ

V. 日本から世界に 9 条を発信する

その後、参加者から質問や積極的な意見が出され、予定時間を大幅に超えた実りある会になりました。

した。

5月3日の「除幕式」は天候に恵まれ60名の参加者で盛大に行われました。



(除幕式後の記念撮影)

その時の様子は除幕式に参加していただいた伊藤千尋さんのフェイスブックにこのように述べられています。

香川県観音寺市に9条の碑

四国は香川県の観音寺市に来ています。今日、ここで憲法9条の碑の除幕式が行われ、みなさんといっしょに除幕の綱を引かせていただきました。

四角い石碑ですが、どんぶりに入ったうどんが彫られています。なにせ「うどん県」。地元ではうどんは長く続くという言い伝えがあり、「平和が長く続きますように」という意味を込めたのだと言います。また讃岐うどんはコシが命。二枚腰、三枚腰で平和を守るのだとか。

食べ物を彫った9条の碑はこれが初めてです。生活の象徴ですね。生活費を削って軍事費に回そうとする今の政治の流れに対して、日々の平安な生活を大事にしようという考えの表れととらえることもできます。

もう一つ、ハートを男女が両側から抱きしめるデザインも彫ってあります。これは「絆」を意味します。今やネットの氾濫で空虚なつながりが流行る中、対面しぬくもりを感じながらの人間のつながりこそ重要なのだと示しているように思えます。

さらに大切なのが、この碑が置かれた場所です。地域の先生たちが費用を出し合って建てた教育会館の敷地に建てられました。軍隊を無くした平

和国家コスタリカでは、それまでの軍事費をそっくり教育費にあてました。その時に作ったスローガンが「兵士の数だけ教師をつくろう」です。かつて教育大国と言われた日本は、今やみるかげもありません。教育、つまり子や孫のことを第一に考える政治でなければ社会は衰退します。

碑のそばにサクランボの樹があり、たくさんの真っ赤な身をつけています。一つつまんで食べましたが、これがおいしい。教育会館を建てたときに植えた苗木が、今やこんな大きく育ち、たくさんの立派な実をつけました。サクランボの花言葉が「善良な教育」です。サクランボの実るころ・・・この実をつまみながら今の子どもたちが成長したときに、彼ら彼女らにとって素晴らしい日本となるような社会づくりをしたい。その象徴となる碑としたいものです。

伊藤千尋様

三豊教育会館で最後に「青い空は」を合唱し、「子どもたちを再び戦場に送るな」・平和を守ろうという気持ちを参加者一同誓いあいました。

今、日本全国で59基の9条の碑があります。さらに拡げていきたいものです。

(三豊・観音寺に9条の碑をつくる会 事務局長 高井 和雄)